

「阿波土柱の湯」の利活用に関する整備基本方針

◆コンセプト◆ ～ 官民連携による「土柱ふれあい複合空間」の創出 ～

現在の「阿波土柱の湯」周辺エリアを一体的に捉え、民間活力の導入と官民連携強化により、それぞれが持つ強みを最大限に発揮しながら、市内外から多くの方に訪れていただける「土柱ふれあい複合空間」を創出することで、地域活性化や観光振興の促進を図ります。

【民】 ①「憩い・癒やし」空間の整備 【施工：民間事業者】

「阿波土柱の湯」の敷地〔建物を含む〕を、今後、公募型プロポーザル方式により選定する民間事業者へ譲渡し、建物の解体後、当該事業者の創意工夫やアイデアに基づいた提案による「憩い・癒やし空間」を整備する。

【民】 ②「食・イベント」空間の整備 【施工：民間事業者】

現在、民間事業者により運営されている「バーベキュー場」について、利用客の増加や市民・観光客等の交流促進に繋げるため、「食・イベント空間」として、施設の継続・充実を図る。

【官】 ③「市民交流」空間の整備 【施工：阿波市】

「休養村ふれあい公園」を活用し、ドッグラン、バスケットコートなど、市民等が集い、交流促進や健康づくりに繋がる「市民交流空間」へとブラッシュアップを図る。

【官】 ④「遊歩道・樹木散策」空間の整備 【施工：阿波市】

森林浴や樹木の鑑賞、植樹体験等を通じて自然の大切さを学べる「遊歩道・樹木散策空間」を整備する。

官民連携による「相乗効果」



※上記は、「サウンディング調査」で聴取した提案の一部を例示したものであり、実際に整備する施設は今後、「公募型プロポーザル方式」による事業提案により決定します。